

<プレスリリース>

2025年3月13日
スペースワン株式会社

経済産業省のスタートアップ支援プログラム 「J-Startup」の第5次選定企業に選出



2025年3月13日 - 小型ロケットの打上げにより「宇宙宅配便」を目指すスペースワン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 豊田正和、以下「スペースワン」）は、経済産業省が運営するスタートアップ支援プログラム「J-Startup」の第5次選定企業に選出されたことをお知らせします。これによりスペースワンは、政府が提供する各種のサポート施策や「J-Startup Supporters*」による成長支援などの多様な取組や機会を活用しやすくなります。

*「J-Startup」プログラムにおいて、経営支援、実証サポート、顧客ネットワークの紹介など、様々なメニューを提供し支援する民間企業。 [Supporters 企業一覧](#)

スペースワン代表取締役社長 豊田正和 のコメント

「スペースワンは独自のビジネスモデルとイノベーションを武器に、日本の宇宙産業の急成長を牽引することを目指してきました。挑戦を続けるスタートアップとして、新しい価値を創出し、世界市場にお



いても果敢に進出することを使命としています。「J-Startup」からの支援は、これまで以上に成長のスピードを加速させる契機となると確信しています。」

J-Startup とは

「J-Startup」は、グローバルに活躍するスタートアップを創出するために、2018年6月に立ち上げられました。実績あるベンチャーキャピタリストや大企業の新事業担当者などの外部有識者からの推薦に基づき、潜在力のある企業を選定し、政府機関と民間の「J-Startup Supporters」が集中支援を行うプログラムです。経済産業省・日本貿易振興機構（JETRO）・新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が事務局となり、プログラムの運営を行っています。

J-Startup オフィシャルサイト：<https://www.j-startup.go.jp/>

以上

お問い合わせ先
スペースワン株式会社 広報担当
Email: info@space-one.co.jp

スペースワンについて

スペースワンは、小型人工衛星打上げに特化した宇宙輸送サービスを提供しています。和歌山県串本町に位置する専用のロケット発射場「スペースポート紀伊：SPK」と、小型ロケット「[カイロス](#)：KAIROS」で、2020年代中に年間20機、2030年代に30機の打上げサービスを提供する「宇宙宅配便」を目指しています。

<https://www.space-one.co.jp/>

スペースポート紀伊について

「[スペースポート紀伊](#)：SPK」は、本州最南端の和歌山県串本町に位置する日本で初めての民間のロケット打上げ射場で、宇宙へのアクセスを最短で実現するための包括的なインフラサービスを提供しています。SPKは、南方と東方に開けた地理的特性を活かし、打上げる軌道やタイミングに柔軟に対応できる点が大きな特徴です。宇宙アクセスへの需要は拡大する宇宙ビジネス市場とともに増加し、多様化しています。今後は多数の小型衛星をひとつのシステムとして運用するコンステレーションが、打上げ需要をさらに加速させる見込みです。このようなニーズに対し、スペースワンは「on time, on orbit」、ユーザーが望むタイミングと軌道で衛星を運ぶことを使命としています。柔軟な対応を可能とする自社専用ロケット射場と小型ロケットを備えることで、国内外のユーザーの需要を取り込み、日本および世界の宇宙産業の発展に貢献していきます。

<https://www.space-one.co.jp/site/>